
墓前

飴

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

墓前

【Nコード】

N8714M

【作者名】

飴

【あらすじ】

初めて墓前に立った時の気持ちを素直に。

こうして墓の前に立つのは初めてだ。
線香と花の臭いだけが漂う。

あの人はここに眠っていると口を揃えて云う。

石に水をかけ、線香に火を着け、祈り、去る。
哀しくなどない。

ここにあるのは石だ。花だ。線香だ。骨だ。
哀しくなどない。

どこかで見えていてくれるならそれでいい。
こうしてあなたの仮の姿を見ているのだから、どこかで見えて
くれてもいいだろう。

曇り空に猫がどこかで鳴いた。

なあじ。

そろそろ、ざっと一雨きそうだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8714m/>

墓前

2010年12月31日19時25分発行